



# KAHF ニュースレター

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町 2-2 京都市国際交流会館 3 階

財団法人 京都国際文化協会内

京都ホストファミリー協会 (KAHF)

## No. 16

2017 年 3 月発行

### 2017 年度 行事予定

### 留学生から知る

4 月 16 日(日)

・ウェルカムパーティー

(吉田南キャンパス生協 1F)

5 月

・ハイキング(予定)

7 月 14 日

・祇園祭

10 月

・大原バーベキュー(予定)

2018 年

1 月 14 日(日)

・新春親睦パーティー・バザー

(京都市国際交流会館 イベントホール)

3 月

・総会ファミリーの集い

「そうか! もう 10 年経ったのか!」日記を見返して、あらためて驚きました。せいぜい 5、6 年のつもりだったのに…。あつという間の KAHF の年月です。参加のきっかけは、メンバーだった方に「英語を話せる相手が欲しいのですが。」と相談したこと。その方の「じゃ KAHF に入れば?」の一言で、出発しました。英会話教室とか英語で京都案内とか、少しでも英語を話せる機会を探していました。ですが、外国の方とのコミュニケーションが取れるところまではいきませんでした。

☆

最初にお会いしたのは、インドから環境学を勉強しに来た留学生でした。祇園祭の船鉦に登るプログラムに参加しました。待ち合わせ時間に遅れて、慌ただしくサンダル履きで、自転車で駆けつけてくれたのが、懐かしい思い出です。その彼は親の代からのベジタリアンで、豚肉のみならず牛肉や魚類も駄目で、目の前の料理もとことん吟味しないと箸をつけませんでした。彼の家に招かれた時にカレーライスを頂きましたが、肉の代わりと思われる色々なビーンズと香辛料が上手くマッチして、楽しい食事会になりました。

☆

台湾からの女子学生は、明るくはきはきした水泳の好きな娘さんでした。京大時計台前で初めて会った時に、「有川浩を知っていますか?台湾で読んで面白かったです。」その時は知らなかったので、聞き流していました。彼女が帰国して 1 年ぐらいて、偶然行きつけの本屋でその本を見つけました。いつも読むジャンルと違って、若々しく、展開の切り口が違って今も楽しんで読んでいます。

☆

3 人目は、エジプトからのクレオパトラに似た医学生です。親御さんの言いつけをよく守る、敬虔なイスラム教の信者でした。我々の新春パーティーの時さえ、別室で何度となく祈りを捧げていました。アラブの春で国が荒れていた時は、当てにしていたエジプト航空の飛行機が飛ばず、心配したものです。

KAHF では新年を迎える会、新入生ウェルカムパーティーをスタートに、毎年数々のスケジュールが催され、留学生とひとときの機会を楽しんでいます。2020年には東京オリンピックも開催され、外国からのたくさんの方が来られます。少しでもコミュニケーションを取って、もてなしの一助になればと願っています。(畑 勇)

平素、KAHF の活動にご尽力頂き、有難うございます。お陰様で、2016 年度もいろいろな行事や個々の付き合いを通して、留学生との交流を深めることができました。今年度の活動をまとめたニュースレターを作成しましたので、どうぞお受け取り下さい。なお、ニュースレターはホームページでもご覧いただけます。行事予告などはホームページやフェイスブックでも行っています。

ホームページ URL : <http://kahf.web.fc2.com/>

フェイスブック グループ名 : KAHF (Kyoto Association of Host Families)

## 2016 年度会務報告

2016 年度に 72 名の新しい留学生 (No. 1922~1993) を受け入れて、HF と B/S 会員をマッチングしました。

2016 年度に新たに 10 名の HF 会員 (No. 467~476) の入会がありました。よろしくお願ひします。また、11 名の会員が退会されました。これまでのご協力に感謝します。この結果、現在活動中の会員は 104 ファミリーとなりました。

2013 年度に発足した新しい HF 活動である Brother/Sister (B/S) プロジェクトへ 2016 年度に 5 名の B/S 会員 (J-046~J-050) が新たに登録されました。B/S 会員は卒業・就職などで自然退会も多く、現在の活動会員は 24 名です。

2016 年度の共通行事として以下を実施しました。留学生、ファミリー、B/S 会員間の和気あいの交流ができた楽しい行事でした。

- ・ファミリー総会 (2016. 3. 20、ロシアレストラン キエフ)
- ・植物園桜見物 (2016. 4. 10、植物園)
- ・ウェルカムパーティー (2016. 4. 24、京都大学生協吉田食堂)
- ・春の東山ハイキング (2016. 5. 22、桃山・伏見)
- ・B/S 会員と留学生の出会いの場 (2016. 6. 12、京都市左京西部いきいき市民活動センター)
- ・料理教室 (2016. 6. 19、ウイングス京都)
- ・ゆかた着付け教室 (2016. 7. 10、京都市左京西部いきいき市民活動センター)
- ・祇園祭船鉦参観 (2016. 7. 14)
- ・下鴨神社名月管弦祭 (2016. 9. 15、下鴨神社)
- ・大原バーベキューパーティー (2016. 10. 23、龍池財団大原郊外学舎)
- ・秋のウォーキング (2016. 11. 20、石清水八幡宮方面)
- ・料理教室：パキスタン料理 (2016. 11. 27、ウイングス京都)
- ・新春親睦パーティー (2017. 1. 15、京都市国際交流会館)
- ・凧揚げ大会 (2017. 3. 4、京都市左京西部市民いきいきセンター+鴨川公園)

## 行事報告

### 2016年 春

#### 2015年度 総会・ファミリーの集い 2016年3月20日(日) 12:00 - 15:30

本年度の総会・会員の集いは四条川端のロシア料理店「キエフ」で開催しました。出席者は、HF が 30 名、B/S 会員が 1 名でした。2015 年度の会務報告および会計報告 (谷垣代表) の後、食事をとり、その後、会員の懇談会に入りました。旧くからの会員から留学生との交流経験 (成功例 および失敗例) について披露があり、留学生に喜んでもらえるヒントや問題点などが話題に上りました。さらに、KAHF の活動に関するサジェスションなどについても意見が出され、有意義な集いとなりました。



#### 植物園桜見物 2016 年 4 月 10 日(日) ・京都市立植物園

桜満開の植物園でお花見を企画した。案内が急だったので、参加がファミリー 1 名と留学生 1 名だけだったのが残念だった。丁度「鴨川茶店」も開催中であり、天気は快晴、桜はソメイヨシノも枝垂桜も満開だった。茶店を冷やかし、桜を愛で、「陶板名画の庭」を見学、最後にチューリップ、水仙 などいろいろ花の咲き誇る植物園内を散策した。



## KAHF 2016 ウェルカムパーティー 2016年4月24日(日)

毎年恒例のウェルカムパーティーを京都大学生協吉田食堂1Fで開催した。参加者はファミリー：53名、B/S：5名、留学生：45名、それと見学：4名であった。留学生の参加が例年より少なめだったが、これは調整したはずの京都市国際交流協会の行事と重なったことが一因だったようだ。参加者が少なかったために、かえってファミリーと留学生、留学生同士、またファミリー同士の交流も密であった。ケーキ、サンドイッチ、それと飲み物を囲んで盛り上がり、最後にくじ引き(殆ど留学生全員にいいものが当たった!)とミニバザーで締めくくった。このパーティーで新しい留学生：15名がKAHFへの登録をしてくれた。



## KAHF 伏見桃山ウォーキング 2016年5月22日(日)

お天気に恵まれましたが真夏のような暑さの中 留学生、B/S会員、HF 合計61名の参加の元 近鉄電車桃山御陵前駅に集合。13時15分桃山御陵を目指し出発、鬱蒼とした木々の間から突然現れた御陵の大階段に一同圧倒されつつも記念撮影後230段の階段をひたすら登り伏見、遠くに宇治の眺望を楽しみました。

次に桃山城運動公園へ、桜が咲くころお花見も良いねとの声も・・・桃山城の堀跡の北堀公園ではすべり台を楽しんだ人もたくさん。

高級住宅地を通り丹波橋駅で解散。予定の時間をかなり超過しましたがそれぞれに良い汗をかいて気持ち良く歩くことが出来ました。予想以上の多くの参加者で盛会でした。お疲れさまでした。



## B/S会員と留学生の集い 2016年6月12日(日) 11:00~15:00

B/S会員と新しい留学生の出会いの場として、6月12日(日)に左京西部いきいき市民活動センターで会合を持ちました。参加者は、B/S会員：2名、留学生：3名、HF4名でした。昼食(弁当)を一緒にして歓談しました。大学入試ありかた、中国人、韓国人、日本人などの違いが見た目でわかるか、中国の方言とかいろいろな話題が飛び交いましたが、全部巧みな日本語で話が進み、留学生のみなさん日本語レベルの高さに驚きました。

その後、けん玉を練習したり、折り紙、切り紙などを習い、ギター伴奏で日本の歌の練習もしました。参加者が少なかったのが残念ですが、参加者は楽しいひと時を過ごしました。留学生とB/S会員の有効なマッチングの場ともなりえますので、できれば今後も続けてゆきたいと思えます。



## 料理教室 2016年6月19日(日) 13:00~17:00

場所：ウィングス京都 3階 調理 コーナー  
内容：巻きずし、かき玉汁、デザート(水羊羹)

出席者22名(留学生10名、ファミリー11名+子供1名)でした。



中々思い通りにはいきませんでした。ワイワイ楽しく作って頂きました。味は、最高?でした。デザートは特に好評でした。

## 夏

### KAHF 浴衣着付け教室 2016年7月10日(日) 14:00~、15:00~

講師：掛水みさこ先生 場所：京都市左京区 左京西部いきいき活動市民センター

今年の参加者は男子留学生 2名、女子留学生 3名でした。

今年は留学生の参加申し込みが少なかったためファミリーからの参加者を3名、受け付けました。

参加人数が少なかったため、何度も復習を重ね、留学生全員が一人で着られるようになりました。そのほか鈴木さまを筆頭に世話人も、着付けの再学習をいたしました。私も掛水先生に、着付けのちょっとしたコツを伝授してもらいました。なかなか着る機会もないのですが、いつかその知恵を活かそうと思っています。

暑い中、ご協力下さいました世話人のみなさま、ありがとうございました。



### 祇園祭 船鉾参観 2016年7月14日(木) 18:00~18:30

恒例の祇園祭「船鉾参観」を実施しました。32名の留学生、ファミリー17名合計49人の参加がありました。自身で着付けた浴衣姿の留学生も参加してコンコン・チキチンのお囃子の音色とともに祇園祭を楽しみました。連日の猛暑が影をひそめ心地よい風にも恵まれました。

お世話いただいた皆様ありがとうございました。昨年より少ない留学生の参加でしたが、良い思い出になった事でしょう。



## 秋

### KAHF 交流会と下鴨神社名月管弦祭 2016年9月15日(木)

16:00に最初の会場、左京西部いきいき市民活動センターに集まったのは、HF:4名、B/S:1名、留学生:2名で少し寂しかったですが、密な自己紹介、マッチ棒パズル、歌の練習(故郷、四季の歌)、折り紙、一部の人は弁当、皆で月見だんごなどを楽しみました。その後、徒歩で下鴨神社に!こちらに直接来られた皆さん(こちらの方が数が多かった)と合流して、篝火に照らされた社殿での尺八、箏曲、管絃、舞楽など優雅な演奏を楽しみました。心配した雨も降らず心地よいお天気で、綺麗な満月も眺めることができました。



## 大原バーベキューパーティー 2016年10月23日(日)

恒例の大原 BBQ、参加者は、ファミリー27名、B/S 会員4名、留学生32名、子供3名、合計66名でした。心配していた雨も降らず、気持ちの良い野外 BBQ でした。焼肉と野菜カレー中心の食事の後、恒例のボール運びゲームに興じ、バドミントン、フリスビー、サッカーなどを楽しみました。ただし、この大原学舎は老朽化が進んできており、また、今年は蜂(スズメバチ?)が巣を作っているとのことで、野外活動は離れた場所で執り行いました。来年以降使用可能か少し心配です。

ここでちょっと裏方を覗いてみましょう。

秋の BBQ パーティーの準備は6月から始まります。6月世話人会で期日の相談をして会場となる龍池教育財団大原学舎を管理している龍池教育財団に申請し、その受理を受けて7月世話人会で開催決定。9月の世話人会で役割分担や食料品等の購入計画を打ち合わせ、10月世話人会で詳細確認して当日に臨みます。

食品の準備はしばらく前から始めますが、前日には担当のお宅の冷蔵庫は満杯状態です。ハラル認証を受けたマトンは数日前に荒神口のイスラムセンターで購入し半解凍してカットし、前日味付けします。ハラル食品があるので安心して参加できると喜んでもらっています。ベジタリアンのためには動物性プロテインの代わりに油揚げの入った野菜カレーが供されましたが、これがなかなかの美味でした。大きな鍋いっぱいで作られたぜんざいもすっからかんに売り切れました。

宴が終わり、皆さんがゲームに興じているころ、台所の後片付けをしたり、BBQ に使った金網や鉄板を金属たわしやワイヤーブラシで黙々と磨いているメンバーがいます、来年のためです。

KAHF のメンバー総出で準備し、楽しんだ秋の一日でした。

## KAHF 秋のウォーキング 2016年11月20日(日)

今年の秋のウォーキングは石清水八幡宮へ行きました。しばらく前からくるくる変わる天気予報に冷や冷やさせられましたが、当日は曇り空で少し高目の気温にもかかわらず歩きやすいお天気となりました。留学生ファミリー総勢23名の参加でした。ゆっくりとおしゃべりを楽しみながら、徒然草五十二段に出て来る高良神社、国宝石清水八幡宮、電球のフィラメント原料に八幡の真竹を使用したエジソンの記念碑、展望台、安居橋、飛行機の先覚者二宮忠八建立の飛行神社と予定の見どころをすべてクリアしました。楽しかったです。

## KAHF 料理教室 2016年11月27日(日)13:00~

講師に Bushra さん(パキスタン留学生の奥様)を迎えて初めてのファミリー料理教室をウィングス京都2階調理コーナーで開催しました。出席者はファミリー19人、子供2人。Bushra さんの親切、的確なご指導のおかげで、珍しいパキスタン料理を和気藹々の中で習うことが出来ました。メニューはチキンカレー、サモ



サとソース、マンゴラッシュ（マンゴーシロップと牛乳の飲み物）と盛り沢山でしたが、そこはさすが主婦歴？年！手際良く、予定通りに出来上がりました。本当に美味しい料理に、各テーブルで話が弾み、楽しい交流会になりました。



## 冬

### 2017年新春親睦パーティー 2017年1月15日（日）14:00～16:00 京都市国際交流会館

恒例のKAHF2017年新春親睦パーティー開催しました。寒波襲来。前夜からの雪で、15日は一面の銀世界になり、参加人数が心配されましたが、留学生50名、B/S会員3名、ファミリー53名など、計約106名の参加がありました。

畑様の司会で開会。その後、京大の和楽器クラブ、観風会の皆さんの素晴らしい演奏が新年会の雰囲気盛り上げてくれました。谷垣代表の開会挨拶、阪田様の音頭で乾杯、会食へ。ロジャー氏の司会で子供達お楽しみのお年玉タイム。今年は会場の都合でバザーを中止した代わりにビンゴゲームを開催。景品はファミリーからの寄贈品で、ワイングラスからコーヒー、ソックスなど様々な品が集まりました。



### 凧揚げ大会 2017年3月4日（土）京都市左京西部市民いきいきセンター+鴨川公園

2017年3月4日（土）午後、例年恒例の凧作り・凧揚げのイベントを催した。参加はHF、B/S会員、留学生含めて30人強（内子供6人）だった。まずは京都左京西部いきいき市民活動センターでの“グニャグニャ凧”作り。ビニール風呂敷と竹ひご、それと揚げるための紐だけの簡単なもので、留学生、子どもも楽しんで作った。その後は勇んで鴨川公園（三角州）へ。気温は暖かく、楽しい戸外での活動となった。午前中は殆ど無風で心配したが、我々が出掛けた時には適度な風があり、ビニール凧もよく揚がった。子供達は勿論のこと、大人たちも童心に帰ってはしゃいでいた。



## 寄稿

### Four Wonderful Years with KAHF!

It was March, 2013 and I was at official dinner in Islamabad hosted by Japan's Ambassador to Pakistan for the newly selected Govt. of Japan's MEXT scholars. There I met a Pakistani professor who had graduated from Kyoto University in 1994. He narrated his exciting experience with KAHF at Kyoto and recommended me to join as well. I found him full of praise for Japanese hospitality. Thereupon, I had made up my mind to join KAHF during my stay in Kyoto as well.

Now almost four years have passed since I landed in Japan. I was fortunate enough to be bestowed with the benevolence of Sakata family when they accepted to be my host family. Before this I had never imagined that I could have another family in Japan as well. Since the day I met with Okaasan, Otousan and their family, Japan ceased to exist like a foreign country anymore. It always looked so mine and closer to my heart.

Life in Japan has come so natural to me in many ways. I have been living here with my wife and two kids. Ammar and Samara have grown up here. They go to Hoikuen and enjoy all colors of life with their teachers and friends. But the thing which excites me most about them is the fact that they have grandparents in Pakistan and, at the same time, Obaachan and Ojiichan in Japan. This is really a unique entitlement which I suspect only a few people could have in their lives.

Me and my family were also lucky to have support and guidance from our host family on a number of different occasions during our stay. My daughter had a surgery two years ago and the support and care we received from Okaasan and Otousan was overwhelming. We have many sweet memories with them which have made our stay in Japan thoroughly wonderful. Be it the family get together on the eve of new year or Okaasan and Otousan's visit to our place to inquire about our well-being, it is always delightful to interact with them. The sincerity and love we received in the previous years is truly priceless and extraordinary.

Our interaction with KAHF was an opportunity to learn and admire the beautiful subtleties of Japanese culture in general and Kyoto's life in particular. My wife's most favorite KAHF event has been the annual BBQ party at Ohara. We are deeply thankful to the KAHF management and the participating families for their generous support and active guidance. KAHF events are always well organized and interesting to participate.

In my opinion, international students who do not join KAHF miss a great deal of festivities of life in Japan. After my graduation, I plan to write a brief manual for the new coming students about joining KAHF and its multifold advantages to learn about Japanese way of life and culture.

One KAHF feature which needs a special mention here is the equal treatment for all kinds of students, without any discrimination of color, race or country. KAHF families' deep respect for other cultures reflects the generosity and kindness of Japanese people. Our deepest thanks to all KAHF members and the management for their time and efforts to arrange an array of exciting events around the year.

We pray for the long and healthy life of our Okaasan and Otousan. We wish we keep on knowing each other in such good terms for the rest of our lives. KAHF is a great organization, with plenty of awesome people who are willing to share their personal time and space with foreign students. That's truly remarkable.

Sajid & Family

#### ファミリーからのコメント

パキスタンからの留学生サジド・ニサラさんは日本に来て間もなく満4年になります。

京都大学機械理工学メカトロニクス専攻の博士課程でロボットのデザインを研究、コンクールで賞をとるなど優れた学生です。2年目からは奥様と2人の子どもも来日し現在京都駅近くのアパートで楽しい家庭生活を送っています。夫婦共に敬虔なイスラム教徒ですが近隣の日本人社会にもよく溶け込んでいるようです。日本人でも珍しいくらい礼儀正しく、尊敬できる人柄にいつも感心させられています。奥様は料理がとても上手なので、昨秋KAHFの「ホストファミリーのための料理教室」に講師として迎え、みんなで楽しいひと時を過ごしました。保育園に通う2人の子ども達は両親よりも日本語をうまく話せて、私達との会話を楽んでいます。あと何年か先、ニサラ一家が帰国するまでに日本のよい思い出をたくさん経験してほしいと願っています。

(阪田)



## KAHFの現況

1. KAHFのファミリー会員数の推移を表1に示しました。ファミリー数は減少していますが、皆さんの新ファミリー獲得のご努力で微減にとどまっています。

2. 受け入れ留学生と引き受けファミリーの推移を表2に示しました。全ファミリー数に比べて、留学生をお引き受けいただいているファミリー数は半分以下です。表2の留学生引き受け数はすべて各年度での新規引き受け分です。留学生の滞在期間は半年～数年と幅があり、過年度からの留学生を抱えておられるファミリーもありますので、かなり多くのファミリーが同時に複数の学生を引受けて頂いています。

表1 ファミリー会員数の推移

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
入会ファミリー数	7	6	10	4	6	10
退会ファミリー数	5	18	8	11	9	11
ファミリー会員数	125	113	115	108	105	104

表2 年度別受け入れ留学生数と引き受けファミリー数

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016
KAHF受け入れ留学生数	44	20	74	47	80	72
学生を引受けたファミリー数	33	17	44	29	45	48
引受ファミリー/全ファミリー	26%	15%	38%	27%	43%	46%

3. 留学生の滞在期間を図1に示しました。2011～2016年度受け入れ留学生338名について受け入れ順を縦軸に、滞在期間を横軸に示しました。滞在期間は半年足らずから長い人で四、五年、平均約21ヶ月程度です。

4. 2016年度の留学生の出身国・地域を表3に示しました。27の国・地域から来ています。

表3 留学生出身国・地域

Azerbaijan	1	Hong Kong	4	Philippine	2
Bangladesh	1	Hungary	1	Romania	1
Belgium	1	Indonesia	2	Russia	2
Cambodia	1	Israel	1	S.Africa	1
China	11	Korea	4	Thai	11
Egypt	3	Malaysia	1	Taiwan	11
Ethiopia	1	Morocco	2	Tunisia	1
Germany	1	Nigeria	1	Vietnam	4
Greece	1	Palestina	1	Zambia	1

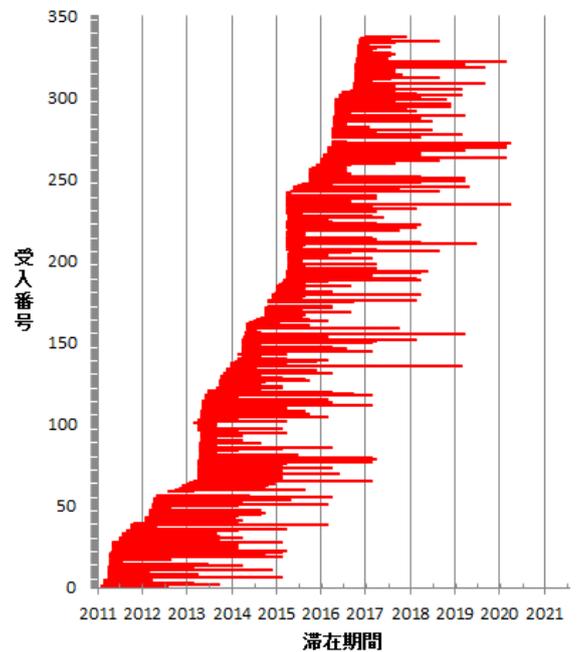


図1 留学生滞在期間

高齢化に伴って家庭での引受けは困難になったがそれ以外の活動ではご協力いただいているファミリーが増えてきています。新規ファミリー獲得が喫緊の課題です。留学生とファミリーの交流の場では、学生が一人だけというよりは何人かの仲間がいる方が学生たちも居心地がよさそうですし、ファミリーも学生が自分たちで盛り上がってくれる方が楽ということもあります。出来るだけ複数の留学生をお引き受けいただければと願っています。

### 留学生あれこれ

京都大学ではいろいろなタイプの留学生が学んでいます。入学試験を受けて学部や大学院に入学した学生、一般交換留学生およびKUINEP(註1)交換留学生、研究生などです。それぞれの国で高校や大学を卒業して京都大学の学部や大学院に入学した学生は所定の年限滞ります。交換留学生の期間は半年または一年で、自国の大学に在籍したままで滞ります。研究生は多くの場合半年～一年希望する研究室で研究した後修士課程などを受験します。卒業後は日本の企業に就職する学生も増えてきています。留学費用の出どころは、私費、母国の奨学金、日本文科省MEXT(註2)奨学金などです。各種団体などの奨学金や助成を受けている学生もいます。

註1: Kyoto University International Education Program 註2: Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology-Japan